

★ふれあい ☆まなび ○つなぐ
地域づくりの拠点

花園公民館

文責 公民館長 堀内 澄夫

『社会を明るくする運動』とは

すべての国民が、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について、理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、安全で安心な明るい社会を築くための全国的な運動です。

この運動は今年で七十三回目ですが、特に、七月を「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域の力」の強調月間とし、今年は、七月四日(火)に出発式が行われました。



宇土市推進委員会会長 元松茂樹 市長をはじめ、宇城警察署員、保護司会宇土支部保護司、各婦人会長、各公民館長、教育委員会の役員等が出席し、社会を明るくする運動の意義について共通理解を図ったところです。

終了後、各学校へ啓発用のポスター、ポケットティッシュ配布や各公民館にのぼり旗の設置等を行いました。今後、明るい社会を地域全体で築き上げていきたいものです。

第一回青空教室

「開講式・輪投げ大会等」

第一回青空教室を六月十七日(土)に実施しました。この数年、新型コロナの影響で参加人数が減少傾向でしたが、本年度はコロナ前に近づいて五十人の参加がありました。



先ず、開講式では、実施の期日や内容について確認したり、館長と室内ゲームを行ったりしました。次に、

本年度新しい企画として白石指導員の提案で「月の砂漠」の歌詞及び歌唱の指導がありました。また、子供たちは一生懸命歌っていました。最後に、恒例の輪投げ大会では、子供たちは一喜一憂して会場は大盛り上がりでした。



感想では「初めての参加でしたが最初は不安でしたが、後では慣れたので楽しかったです」とか「輪投げは簡単だと思ったら、意外と難しかった等の声が聞かれました。」

第一回成人講座

「防犯・交通教室」

昨年引き続き今回も夏休み前の青少年協議と兼ねながら、「防犯・交通教室」の講座を七月十二日(水)に実施しました。



当日は先ず、宇城警察署生活安全課の村上主任から、少年の補導について、資料を基に

補導の目的や不良行為について丁寧な説明がありました。次に、花園駐在所の坂口さんから、県、宇城、花園地区の犯罪及び交通情勢について、昨年と比較しながら、事案を交えたお話がありました。最後に、宇



土市環境交通課の前園さんから、高齢者の交通安全や道路交通法の改正等について、資料のチラシや交通に関するグッズを配付しながら説明がありました。その後、質疑応答や夏休み期間中のパトロールについて、みんなで共通理解を図っていきました。

館長のつぶやき

今年も子供たちにとって大好きな夏休みがやってきました。不思議なもので、私の心も学生時代や教員時代が長かったせいか、今でも夏休みになるとうれしくなります。では、私の少年時代の夏休みの過ごし方を書かせてください。

朝は六時前に起床して、六時半からのラジオ体操に毎日参加していました。その後朝食をとったら、親子ソフトボール大会に向けての練習、午後は学校のプールに泳ぎに行つて、その後、家で昼寝。夕方からは、週に数回、地藏祭り大会に向けて部活の剣道の練習をしていました。夜は親父と巨人戦の観戦でした。夏休みの宿題は、夏休みに入って十日間と地藏祭りが終わってからの勝負でした。

体を動かすのが大好きな少年時代でした。お陰様で、体育の授業では、水泳、陸上、マットや鉄棒や跳び箱等の器械運動、球技、ダンス等、ひととおりできていました。その結果、体育の先生を指すようになりました。その土台は、私の少年時代の夏休みの過ごし方にルーツがあったようです。